

# 『意思決定支援』 研修会実施報告

日時 : 令和3年2月13日(土) 9:00~16:00

対象者 : ラダーⅡ~Ⅲを目指す者

参加者数 : 36名

目的 : 意思決定場面における看護師の役割とACPが理解でき、実践につなげることができる

## <講師の紹介>

AM

緩和ケア認定医師

奈良県立医科大学附属病院 緩和ケアセンター  
センター長 四宮 敏章先生

PM

緩和ケア認定看護師

H係長



## <内容>



今回の研修は意思決定支援をテーマに行われました。午前には四宮先生からがんと診断された患者・家族に生じる心理的な問題も踏まえた上でアドバンス・ケア・プランニング(ACP)をどう進めていくか、メリット・デメリットなど講義をしていただきました。再発に対し不安を抱えているがんサバイバーが多いにもかかわらずそれに気づいている医療者は少ないのが現状で、グループワークではケアが必要なサバイバーの見つけ方や声掛けの方法など患者役、看護師役に分かれロールプレイも行いました。午後からはH係長より意思決定支援における看護師

としての役割について講義をしていただきました。その中でコミュニケーションスキルを高めると患者への質の高いケアへの提供につながるとありました。看護はどの場面でもコミュニケーションスキルが求められますが、そのスキルの一つとして今回は「NURSE」について学びました。Naming(命名)、Understanding(理解)、Respecting(承認)、Supporting(支持)、Exploring(探索)の意味で、会話の中に取り入れることで感情表出を促すことができるスキルです。グループワークではこのスキルを実際にどのように用いるか話し合いました。今後このコミュニケーションスキルを活用し看護実践に繋げられることを期待します。